

ポータブルラジオ (AT-125)

の上手な使い方



これは、ナショナル製品の愛用者であるサラリーマンM氏から、ショップ編集部へ寄せられた実話です。

私は、いまAT-125というポケット型のポータブルを、二台目のポケットラジオとして愛用していますが、重量わずかに百五十グラム、ミカン一つというこの軽さが、ほんとに気に入っています。

といいますのは、以前のポータブルでも、便利なことは便利なのですが、まだ通勤時にポケットにソット忍ばせるのには、少々重たくて、服の型をくずしてしまうようです。

それでも毎日カバンの中につっこんで会社を持って行っていましたが、なんとか、かさばらずに軽いラジオが欲しいと思っていた矢先、今度のAT-125が出現しましたので、本当に嬉しかったのです。

それにイヤホン専用というのも、安心して聞いておられる点で便利です。というのは、昨年の秋場所の大相撲のとき、会社で、以前のトランジスタラジオにイヤホンをさしこんで、を引き出して、ズボンのポケットに手を入れればOK。さすがはナショナルラジオの機能的な苦心のデザインが効果を奏して、ケースのつまみ部分がへこんでいるので、楽に選局できます。しかし、帰宅して上着を脱ぐときに、イヤホンが落ちて、床にぶつけたことがありますので、以後の用心のために五センチほど短くするように、

こっそり実況を楽しんでいたところ、電話がかかってきて、手を伸ばした途端にイヤホンがはずれてしまったから大変。国技館の歓声が部屋一杯にひろがり、課員の前でとんだ恥をかいだことがありました。その点、AT-125はもうそんな心配はありません。

感度の鋭いのは、さすがナショナルのラジオ。ドリフト・トランジスタの高性能が遺憾なく発揮されて、国電はもとより、都電の中でもOK。地下鉄の駅構内でもなんと聞けるのは大したものだと思います。それに、会社の便所は、鉄筋ビルの中央、しかも四方がタイル貼りなのに、ここでもOK。いまままで新聞を持ちこんでいましたが、これで、便所の中で老眼鏡をかける味気なさが救われたというわけです。

さて、前置きが長くなりましたが、これから私流の使い方をご紹介します。

まず第一の方法ですが、これは、本体をズボンのポケットに、イヤホンは上着の襟ポケットに入れます。コードは上着の下にかくれますから外からは見えませんし、これなら服の型をくずす心配もありません。そこで、聞いたときは、襟ポケットからイヤホンコードを二巻きにしてセロテープでくっつけて、足の長さに合わせました。

(次号に続きます)

ナショナル製品ならなんでも結構です。この種のごとで、お店がご工夫なさったこと、またお客さまからお聞きになったことなどありましたらお知らせください。採用分には、相当の記念品を差し上げます。

(編集部)